

1. 目的 勾当台公園基本構想で想定した勾当台公園の活用方法を踏まえ、イベント主催者や観光業界、市民団体（NPO団体）等からの意見を聴取することにより、施設配置等を検討するうえで基本資料とするために実施したもの。
2. 意見聴取先及び内容
- ・イベント主催者（3者）：イベント等での活用をするうえで必要な設備や備えについて
 - ・観光業界（4者）：魅力的な公園を生み出すためのブランディングについて
 - ・まちづくり関連（6者）：都市デザインの観点から、公園の役割（公園デザイン）、公園の歴史（地歴）や文化の保存と継承、エリアマネジメントによる公園での官民連携について
3. 実施日 ①令和4年7月26日：イベント主催者 ②令和4年7月26日：まちづくり関連（6者） ③令和4年7月27日：観光業界（2者） ④令和4年7月29日：観光業界（2者）
4. 実施結果

| 分野別 | 意見内容 | |
|--|--|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">イベント主催者</p> | <p>【イベント等での利活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県民会館の代替えとしての使用も考えられる（コンサートを行うには、スペース不足で音が出せない） ● 野外音楽堂の向きは正面が南向きに、市民広場のステージは東西向きに配置した方がよい（騒音を考慮） <p>【必要な設備や備え】</p> <p>ステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民広場の地下鉄排気塔側にも、ステージがあると良い。 ● 野外音楽堂の老朽化が著しく見栄えが悪い。ステージの面積も拡充が必要。全体的に改修を ● 市民広場ステージに、昇降可能なループトラス（舞台屋根システム）を設置 ● 市民広場のステージにバックヤードが必要。ステージ高さは、もう少し高いと良い。（県民会館くらい） <p>設備関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ステージの広さや高さを柔軟に変更できるような機能の導入 ● 大規模コンサートも想定した設備の整備（音響や照明用のパト等） ● 照明等備品を市で確保し、貸出しから設置までをお願いしたい ● イベント時、トイレが不足するため増築が必要 ● イベント時にも、災害時にも利用できる電源設備・トイレ・水道施設の整備 ● テントブース毎に電気の安全な供給が可能となるよう、分電盤を増設 ● テント設置用のアンカーリングを整備 | <p>機能等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 10t車搬入可能な舗装構成にして欲しい。（イベント時の資材搬入や防災拠点としての使用のため） ● いこいの広場はフラットに整備（特に下段の噴水2箇所は危険） ● 入場制限や区画分けが容易に行える設えだと良い（コロナ対策・有料イベント） ● 機材などを設置してはいけないエリアを、公園内に明示して欲しい <p>【公園の役割（公園デザイン）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民広場はステージを無くしてフリースペースとした方がよい（多様な利用を想定） ● 歴史の広場は、見通しが確保できるよう整備されれば、イベントでも利用できる ● 古図広場を撤去し広場化 ● 3つの広場をつなぐベデストリアンデッキや歩道橋を設置し一体的に利用 ● 交差点周辺は信号待ちの際人があふれるため、滞留スペースを確保 <p>【エリアマネジメントによる公園での官民連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 管理運営は民間事業者任せ、柔軟な制度を構築させる（PFI方式等を積極的に活用） ● 市民広場のステージと野外音楽堂を有料化 |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">観光業界</p> | <p>【イベント等での利活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市役所に隣接しているため、来客者が安心して利用できる公的なイベントが見合う ● 国際色豊かな物産展などを開催し、インバウンドを発信 <p>【必要な設備や備え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多様なイベントを呼び込めるような設えに ● トイレを美しく、誰でも使いやすい仕様に整備を（男女区別をなくす、災害時にも使用できる） ● QRコードなどを活用し、公園の全体像がわかるコンテンツやシステムを導入 ● 災害時、観光客が正しい情報をすぐ得られるよう、公園内にWi-Fiを設置 ● サインの増設（地下鉄の出入口、エレベーター位置、公園案内等、外国人でも理解できる標記で） ● 公園利用者の荷物を預けられる場所があると良い <p>【魅力的な公園を生み出すためのブランディング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 野外音楽堂は、自然に囲われているなど特徴をアピールすれば、ブランディングの可能性は有る ● エリア全体をフィールドと見立てゾーニングし、その中の『公園』としてイベントをする手法もある ● 公園単体での集客は難しい、エリアで呼び込む方が人は集まる ● 勾当台公園がエリアの拠点として、どんな立ち位置なのかを明確に設定する必要がある ● 勾当台公園にどんな人を呼びたいのか、利用者のターゲットを絞って設定 | <p>【公園の役割（公園デザイン）】</p> <p>休養施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 杜の都らしく、ベンチを木製にするべき ● いこいの広場上段部から公園内が見渡せるよう、円形広場のベンチの向を逆に設置 ● いこいの広場に休める場所が少ない、誰もが使いたいと思う「憩い」のコンテンツを導入 ● 全体的に死角が多い、見通しが確保されれば訪れる人も増える <p>デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ナイトイベント開催など、ライトデザイナーと一緒に明かりの使い方を検討。照明は観光面においても重要 ● 公園内を回遊することで、楽しみながら学べる公園に ● 市民の憩いに特化した公園に（市民が楽しめない公園では、市外から人は来ない） <p>【公園の歴史（地歴）や文化の保存と継承】</p> <p>伝</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今ある資源を有効活用、地歴や資源を視覚化・文字化し来園者に発信するサイン等を導入 ● 『表小路』『北四番丁』『勾当台』『定禅寺』など周辺の地名が分かるコンテンツを設置 <p>植栽</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仙台城下の屋敷林の樹木（柿や栗など実のなる樹木）、屋久根などの樹種を公園内に植栽し再現 ● いこいの広場の階段の一部を木製にして定禅寺の名残を再現するなど、設えを少し変えるだけでも良い ● 三越前のヒマラヤスギは、過去のクランク解消工事の頃から変わらず残っている。保存すべき樹木 <p>【エリアマネジメントによる公園での官民連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受益者負担（公園利用者がお金を支払う）を念頭に、飲食サービス等の導入を検討 |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まちづくり関係</p> | <p>【イベント等での利活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今以上の賑わいを求めるなら、市民広場だけでは受け入れ不可能 <p>【魅力的な公園を生み出すためのブランディング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最初にターゲットをしっかりと決めてから、ブランディングを検討 ● 勾当台公園のポディションを明確にするべき（市内の公園として、エリアとしてレイヤー化） ● 勾当台公園再整備事業は青葉通の広場化と組んで考えるべき ● 観光客が注目し、経済効果が出るような目標を明確に設定 ● 公園内のエリアの枠組みを取り払い、『一つの公園』としてブランディングを考えるべき ● 公園に行きたくなる場所が公園内にあると良い、今は無い ● 市民に公園を「自分の庭」として、作りこませる取り組み ● ブランド発信拠点としての可能性は大いに感じる ● 勾当台公園のはっきりとしたイメージが浸透すれば、市民活動や経済活動も活性化される ● 勾当台公園は、仙台駅前エリアへに対する武器となる、市役所内の様々な部署を巻き込み検討を進める <p>【必要な設備や備え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民広場の使用料は、曜日別に設定 ● 公園内の好きな場所でくつろげるよう、椅子の貸出しやパークファンチャーなどを導入 ● 東北6県をPRするような施設や、カフェ等憩える施設を公園内に設置 ● 勾当台公園は普段市民が使い、市民が作っていく場所。イベントスペースでは無い | <p>【公園の役割（公園デザイン）】</p> <p>設え</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子供達が植物に触れることができる空間、彫刻に触れて遊べる空間があると良い ● 定禅寺通側からの入口の整備 ● 合同庁舎側の緑道のようなエリアも勾当台公園の区域。このエリアも活かす計画に ● 土の空間をしっかりと確保し、土に水を返す構造を構築（地球温暖化対策） <p>あり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都心のサードプレイスとして、緑を楽しみながらゆっくり憩える公園に、居心地のよい公園に ● 「日々進化し続ける公園」「人と人を結びつける公園」であることが大前提 <p>植栽</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人が入れる芝生エリアを整備 ● 仙台市内の保存樹木で2～300年、仙台に根付いているような樹木を公園に植栽 <p>【公園の歴史（地歴）や文化の保存と継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 何万年もかけて形成された河岸段丘によって形成された街である事をアピール ● 彫刻は空間造形。緻密に調整して設置したもの。彫刻を動かすことは絶対にやめて欲しい ● 河岸段丘に水を流したりするような、資源を活かした面白い仕掛けを導入 <p>【エリアマネジメントによる公園での官民連携】</p> <p>手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運営の目標像を設定してから手法を検討し、整備前に関係する団体等と話しを進める ● 市民広場は公園区域から外し、『市役所の前庭』として、新庁舎低層部と一体的に利用 ● 維持管理については地域団体に任せ、維持管理費を地域に還元して活動を継続させる ● 公園利用者が100～500円程度の消費をするような、コンテンツや施設を導入 <p>課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 勾当台公園は、「運営」を売りにするべき ● 勾当台公園は管理を市で行っているため、つまらない公園となっている ● 公園における禁止事項を無くして、もっと自由に使える公園に |